

UA神奈川学習センター ふゆだより

2002/1/1 発行

第5巻第1号(通巻17号)

目次:

特集

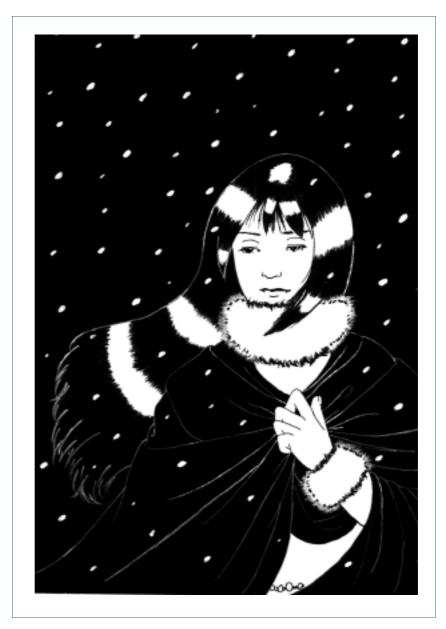
卒業研究のすすめ 2

新年に想うこと 4

学生団体・サーク ⁶ ルのお知らせ

放送大学神奈川学習センター 〒 232-0061 横浜市南区大岡 2-31-1 TEL:045-710-1910 FAX:045-710-1914

http://u-air.net/kanagawa/ E-Mail:social@u-air.ac.jp



[イラスト:坂戸五葉]

特集: 卒業研究のすすめ

一つの事柄をじっくり考えることから見えてくるもの

當間 いく子

全科履修生となり4年。ひたすら放送授業のビデオとテープに向き合う孤独との闘いだったともいえますが、めげそうになる頃に面接授業を受講し、また放友会や合唱団などのサークル活動に参加し大いに刺激を受け、楽しい思い出も多かったと思います。

なかでも、卒業研究をまとめあげた瞬間の充 実感は忘れられません。一つの事柄をじっくり考 えることから見えてくるものがあるという体験 をしました。卒業研究のテーマは「介護保険制度 とホームヘルパー」です。登録ホームヘルパーに なり1年半。当初、「高齢者のおしゃれへの関心 と自立度」について資料を集めはじめましたが、 短時間の観察では変化を期待出来ずやむを得ず 断念しました。ちょうど、介護保険制度がスタートして半年に差し掛かり、利用者や事業者、各々 の立場からの問題点を新聞やテレビなどが大き く取り上げるようになってきました。

当時のノートには、「H12年8月20日、介護保険制度とホームヘルパーについて。まず、制度的な矛盾、行き届いていない部分、ヘルパーとして感じること、自分自身の活動で見えてきたもの、一人一人に対してどうしたら良いかをまとめる」と、記してあります。8月半ばを過ぎ、ようやくスタートラインに立つことができました。

指導会議で「思いつくところから、まず書き出してみましよう」と促され机に向かうのですが、 捗らず時間ばかり過ぎていきました。会議を重ねるごとに「そろそろ章立てを考えましょう」、「事例の総括は・・」と少しずつ具体的になってきました。章立てを行いたいけれど、全体像を把握しきれていないため、何度もやり直すことになって提ってり、また事例の総括を行い、ようやく日がラフを用いてまとめあげ、ホッとするまもなく「10例の総括には棒グラフが妥当」との指摘をうけ、やり直すことになってしまったりしました。最も神経を使ったのは、事例を取りあげるときに、プライバシーをどのように考慮すればよいのかということでした。

論文の目的については、ホームヘルパーの立場から介護保険制度を捉え、要支援・要介護の高齢者の「自立」への援助を、どのようにできるかを考えてみることとしました。まず、仕事柄関連の

ある資料を引っ張りだしたり、図書館へ通い「介護に関する」最新情報を集めたり、また関連がありそうな放送大学の印刷教材を改めて読み直したりするなど、できるところからやりはじめ、研究仲間とも密に連絡をとりあいました。具体的な方法としましては、過去一年半に約40名の要支援・要介護の高齢者と係わった経験から、10例をとりあげ適切な対応ができていたか考察し、新聞紙上からは、日本経済新聞と読売新聞の記事を取り上げ分析することにしました。

少しずつ見えてきたことは、制度上の問題でした。手続きが面倒でわかりにくいことと、訪問介護の区分がわかりにくいことなどを訴える利用者や家族が多いことです。利用者の立場からは、会話など心のケアも求めていることや、要支援から自立へ見直され、パニック状態になる方(利用者)がいること、新たな障害をも受け入れて打ち込めるものを見つけることは大変なエネルギーが必要であることが明らかになってきました。また、ヘルパーの立場からは、家族への配慮も欠かせないことや、複数のヘルパーが出入りする家庭ではヘルパーの比較をしないでほしいことなどを訴えていることがわかりました。

最後に、ホームヘルパーの役割は「利用者そ れぞれに対応できる柔軟なこころを持ち、利 用者の眼の輝きをキャッチし、なにを大切に しているかを感じ共有することで自立への道 を開くきっかけをつくること」と結論づけま した。私自身はこれまで、ヘルパーは自立を促 す大きな役割を担っていると思い続けてきた わけですが、卒業研究をまとめあげる頃に なって、本当にそうだろうか、人生の大先輩に 対し「さあ、(ヘルパーを頼らないで)自立し て下さい」などと言えるのだろうかと疑問に 思えてきました。今回、卒業研究に取り組み、 じっくり考える機会を得て、「まず無条件で受 け入れること」が何より重要で、そしてその次 に「それぞれの利用者に合った形で自立を促 す」ということではないかと感じているとこ ろです。

2002/1/1 発行 Page 3

放送大学で印象に残ったこと

佐藤 久美子

私が放送大学に入って印象に残ったことといえば面接授業と卒業研究です。その中でもやはり 卒業研究が印象に残っています。

一応卒業を目指そうと入学したものの124 単位は遥か彼方、到達しそうにもないところにあ りました。それが少しずつ単位がたまり90単位 になったところで、卒業研究をどうするかを決め なければならくなっていました。それまで通信指 導問題で記述式の問題や面接授業でのレポート の提出もありましたが、1500字のレポートを書く にも苦労するありさまでまとまった文章を書く 自信はまったくありませんでした。

しかし、サークルにも参加せずたった一人で勉強をしてきた私にとって、このまま単位だけをとって卒業するのでは、あまりにもインパクトに欠けるのではないかと思い始め、失敗しても3科目とればいいんだからと、決意を固めて卒業研究をとることにしました。

申請が許可されてから実際に先生とのゼミまで、レポートの書き方や論文の書き方などの本を購入して読んでみましたが、何をどうしたらいいのか、ピンと来ませんでした。そうこうするうちに初めての会合が開かれました。それぞれがまったく違うテーマでしたが、今後のスケジュールと次の月までにやってくることなどを確認し、研究がはじまりました。

そのころわたしは千葉に住んでいたにもかかわらず、恥ずかしいことに放大の図書館を訪れたのは初めてでした。地域の図書館と所蔵している本が違うことや、新しくきれいな本が多いことに気がつきました。美術書は充実しており、好きなだけ見ることが出来ました。

専攻は「生活と福祉」でしたので、衣生活の観点から布に現れた「花模様」をテーマに選びますが、花模様といえばヨーロッパを思い浮かべますが、それがいつ頃からどのようにしてヨーロッパに導入されたのかを調べてみたいと思いました。しかし、自分なりにテーマを絞ったつもりでいましたが、すでに多くの研究が専門家によっていることに衝撃を受け、自分がこれらの中で何を研究したいのかが、まったくわからない世界に頭を突っ込んだような、はたまた大海原にほっような心境でした。

そんな気持ちのまま彷徨い続けて、あと一月というところまで来てしまいました。一緒に研究をしているほかの方たちは日を追うごとにページ数が増えていくのに対して、私はまったく進まず落ちこぼれ寸前でした。しかし、ここで止めてしまっては絶対に後悔すると思い、何しろ形を整えて幼稚なものでもなんでもひたすら提出することだけを目指して進めようと決心しました。

服飾関係の文献は、服の形態を扱ったものが多 く、美術書には文様はあっても花模様とは限ら ず、植物の花の本ではプラントハンターの苦労話 しかなく、何をどうやって調べたらいいのか途方 にくれる毎日でしたが、ふとしたことでヨーロッ パに花模様がもたらされたのは、インドなどの東 洋からということがわかりました。そして、日本 へも鎖国時代であるにもかかわらず、着物のデザ インにヨーロッパからの影響を受けていること もわかりました。最終的には、このような相互の 影響についての関係をまとめることにしました。 担当の先生とは、提出締切日の前日に放大本部に 直接持っていくと約束していましたが、どうして も出来上がらず、当日は仮病で仕事を休み、朝か らパソコンに向かいました。本文の仕上げの他、 概要や参考文献の表の作成などやることが次か ら次へとたくさんあり、まったく生きた心地もし ませんでした。図表一枚入れ忘れたことに気がつ き、放大に行く途中でコピーもしました。パンチ 持参で、ロビーで穴を開け無事に提出できたの は、締切時間の30分前でした。

「ON AIR」などに載っているような優 秀な方々から見ると、なんとも恥ずかしい限りで す。こんな情けない状況だった私ですが、それで も今思えば卒業研究を履修してよかったと心か ら思っています。やはり大変ですが、放送授業で 6単位分とったのとは、まったく比べようもない 有形無形のものをもたらしてくれたような気が します。直接先生の指導を受けられる、またとな いチャンスですし、自分でやってみてからでない と、いくら先生からテーマを絞りなさい、章立て を早く作りなさいといわれても、その意味する重 要性がわからないのです。研究の出来不出来よ り、まずはその過程を経験することが大切なので はないかと思います。もし卒業研究をとろうかと 迷っている方には、ぜひ受けることをお勧めしま す。

特集: 新年に想うこと

年は上がってしまうけども

治恵 木崎

私は、1月生れである。私を含め1月生 れの人間にとって、新年の到来は、新しい 年齢の出発点でもある。

新年になると、皆がおみくじを引いて 今年の運勢を占うが、私にとっては、今年 の運勢に加え、何々歳という自分の運勢 についても気になるところだ。また、私は 師走での、月日が流れる憂いを人一倍強 く感じる。おまけで加齢されるからだ。

年末年始、大晦日と、元旦までは、高揚 感が保てる。普段は、節目なく長時間テレ ビを見ると、頭が腐るような不快感が募 るのだが、この日ばかりは、まあいいかと 怠惰がゆるされる。

しかし、二日目当りから、もう怠惰に飽 き耐えられなくなる。私が長く付き合っ ているNHKの語学講座も三日まで休講。 日課がないとなんとなく不安だ。テレビ も暇潰しにしかならない下らない番組ば かり。「早く正月モードが終わって、通常 に戻らないかな」と考え始める。

でも今年は、放送大学の特別講義の特 集を見るつもりなので、大丈夫そうだ。 (去年まで、特別講義の存在を知らな かった。) 今から、面白そうな番組を チェックしている。「首都の天然森」、高 尾山は登ったことあるな。「外国語への招 待、中国への諸言語」北京語以外は余り知 らないな、どんなかな。「松谷みよ子、民 話の世界」松谷氏の著書は「モモちゃんと プー」、「龍の子太郎」を読んだことがあ る。「DNA」や「海綿動物」・・・この類 の分野は苦手。「森茉莉」、この人の作品 は、三輪明宏さんの推薦本だ。こう言った 具合に、見たい(聴きたい)講義にアン ダーラインを引いて行く。今年は多分、年 末年始、旅行には行かない。でも、まあい いか。これ程、たくさん特別講義が放送さ れるのだから。知的に満足したところで、 また誕生日がやってくるのだな。加齢と 共に、精神も少し成長してくれたらいい

俳句:自句自戒

から調

理される海鼠はまさに

世

こんな奇体に生れたのも神の悪戯。

別

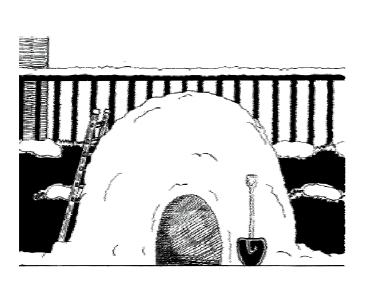
に世を拗ねた

松本 道男

刀両断に捌こうとしているのである

はのわを けではなった。 こ 私自身かもしれない。無理解がとても悲し そんな想いを断ち切ろうと海鼠 もし んなむ かし たら世を拗ねている 海ねているの海鼠は世間

ね 堅き海鼠に刃を立てる



道男

お菓子の箱

鈴川 幸子

ここに放送大学のA5判の教科書が、2、3冊くらい入る大きさの、お菓子の箱がある。老緑(おいみどり)色の和紙が貼られている干菓子の箱である。この箱には温かい思い出があり、見るだけでも心がやわらぐ。

2001年の夏、夫と私、それから車の旅行に慣れていない私の母の3人で、台風が接近する中、2泊3日の旅行中のことであった。前日箱根に泊まり、その日は長野県の霧ケ峰に泊まる予定であった。箱根は雨だったが、長野は午後からだというので、雨が降らないうちに松本城などを見学しようと心は急いでいた。山梨県の御坂トンネルを出た所で雨の中、トイレ休憩をとったのは11時頃だった。

やがて、夫が運転する車は、松本に向かって中央自動車道に入った。私はお昼をどこで食べるか、 どこで夫と運転を交替するか地図を開いた。さて、眼鏡。

アッ! ない!

眼鏡を入れてある袋がない!

その袋には免許証・財布・テレフォンカードに放送大学の学生証もれてあり、財布には何と5万円! あまり高額な現金を財布に入れない私・・のが悪かったのが悪かったのがまながらしたが、と元を気に入れながら出てきてしますといった。世っかく入った中央自動をに入れなが、夫は休憩場所に引き返したが、大は休憩場所に引き返したが、大は休憩場所に引き返した。 警察に届けたが、その日はだけであった。管察に届けたが、その日は後に行っただけであった。

夫が言った。「こんな不景気な世の中さ。見つけた奴は喜ぶよ。財布から金とテレフォンカードだけ抜き取って、ドブの中にでも捨てて終わりさ。クレジットカードを入れてなくて良かったよ。」霧ケ峰も私の心もドシャブリの中、長男から宿に電話がかかってきた。袋を見つけた方がいるという。免許証の住所から我が家の電話番号を調べて下さったのである。2日後には私の所へ袋が戻ってきた。

エッセイ

午前9時を過ぎたばかりの早い時間であった。袋を見つけた方は少しでも早くと、宅配便の最も早い時間指定をして、大切なものが入っているのが外から分からないようにと、お菓子の箱にお菓子も入れて送って下さった。心のこもった手紙も添えられ、種々の気配りに深く感謝した。

その日の午後、私にとって大事な勉強会があった。私は県立金沢文庫の展示解説のボランティアをしている。その為の勉強会に眼鏡がないと話にならない。いつものように袋を持って、眼鏡を取り出せた時に、何と幸運なことだろうと、とても嬉しかった。

次の日からは財布はもちろん、免許 証・放大学生証の再発行手続きに、煩 わされることもなく、幸せだけをお菓 子と共に味わった。

以下はお菓子の箱に入れて下 さった手紙の内容である。「大切な 物を忘れられたことに気づかれま した時は さぞ、ご心配されたこ とと思います。私も置いたままに しようか、とても悩みましたが、も しそのままにしてしまうと私も心 配になって困っていたと思いま す。いずれにしましても、楽しい旅 行中のはずが、色々とお困りだっ たと思います。天候も悪く大変で したね。我が家で好きなお菓子を 同封致します。お疲れなおしにど うぞ。」 今でもお菓子があり、私 は甘美な味を楽しんでいる。いず れなくなるが、「お菓子の箱」の心 は一生涯大切にしていきたい。



エッセイ

しまなみ街道を旅して

皆川 昭三

瀬戸の島々を眺め四国と本州を結ぶ一つのルートを渡ってみよう、唯代をでいている。 北よりも歴史と文学に触れる学をでいる。 に足を踏み入れた思いかぶ大るとでは、 を世た。瀬戸内海に浮かぶいると、 らせた。瀬戸内海に浮かぶいると、 らせた。瀬戸内海に浮かぶいると、 らせた。瀬戸内海を集していると、 もな渡しの方でよる。の左右にる。 であり島の文化、新しく出来た近代の たは見向きもされないでいる。

この大橋が飛び石の如く渡る島のうち、私が最も印象的だったのは、生口島(いぐちしま)だった。ここに平山郁夫美術館、耕三寺、シトラスパーク瀬戸田など、三つの見どころがコースに入っており、美術館だけに絞っても盛り沢山だ。

平山郁夫美術館のコレクションの 特徴は、大下図が多く掲げられている ことである。全然絵画に縁のなかった 自分ではあるが、説明を聞き、鑑賞し

ているうちに引かれるのである。こ の下絵に加えられる塗や削りの精彩 な技巧は、油絵とは違う。絵具は岩を 粉末にしてこねたとかで色彩を上に 重ねる手法は不可能という。従って 修飾は削るしかないのであろう。然 し、画像の迫力は大したものである。 平山画伯は、ここ広島県瀬戸田町(い ぐち島)に生まれ、瀬戸内の恵まれた 風土の中で少年時代からスケッチや 絵画に親しみ、育まれてきた環境が 今日の脚光を浴びる平山芸術の粋と なった感がする。既に平成10年1 1月文化勲章を受賞されておられ る。当館にその証書が飾られている。 総理府賞勲局長、榊誠の署名と、中央 には明仁の御名と大日本国璽の権蹟 に思わず頭が下がった。これら作品 の一つ一つに注目してゆくうち、一 際感動を呼び起こされたのが「玄奘」 僧と同じルートを平山画伯も辿って 取材の長旅を続けて描いた一連の大 作である。「玄奘」僧侶は天山南路か らインドに入りナーランダー寺の戒 賢らに学び「大般若経」や「倶舎論」 などの仏典を多く翻訳されている が、平山画伯もその旅行記を辿り、労 苦の作を成し遂げられ『シルクロー ド展』となったのである。あまりの感 動で、そこに張り付いたまま動けな かった。大下図の二大下絵の中に峡

谷のインダス河あり、マラカンダ 峠あり、バーミアン石洞窟あり、い ま盛んに新聞種になっている地名 がある。アフガニスタンの国土の 九割を支配するイスラム原理主義 勢力のタリバーンがバーミアンの 大仏二体を爆破しようとする ニュースが、世界を駆け巡ったの はまだ記憶に新しい。仏像などの 偶像崇拝がイスラムの教えに反す るという訳で、破壊命令を出した と言われる。そのバーミアン石窟 を描いたものや、シャララバード のカイバル峠、ペシャワール、イス ラマバードなどの険しい山路、 崖っ淵や断崖一面にえぐられた無 数の穴、これが彼等の潜む洞窟の 口元なのだろうか。みごとに描か れており、あたかも自分がそこに 立たされているような錯覚さえ起 こしてしまった。絵を眺めるだけ で峻険な様子が胸を打つのであ る。身の毛が弥立つ間もなく隣に はオーバーハングした岩石が険悪 そのもの、平山郁夫のアフガニス タン、パキスタンの取材に恐れ戦 くばかりである。相当長期に亙っ たものと想像するが、小生、迂闊に もいつ頃の取材によるものか見落 としてしまった。

学生団体・サークルの お知らせ

放大かながわ レク・サークル

三浦ふれあいの村でターゲット・バードゴルフ (TBG)を楽しみました。11月24日、25日神奈川県三浦市にある三浦ふれあいの村で開催されましたが、初日の24日は、当サークルが主管で実施し、翌日は神奈川県TBG協会が主催して開催され、2日とも横浜、横須賀、茅ヶ崎および泉区などの各地区TBG協会から、延べ百数十名以上が参加して競技を楽しみました。

TBGをご存知ない方に簡単にご

説明しますと、ゴルフのPWクラブのみを使用して設定されたコース上で、バドミントンのシャトルに似た玉を打って、ストローク数を競技で、ルールもかなりゴルフに似うで、老若男女が楽しめる競技です。24日の競技は日の高いうちによるし、夕食後は各地区協会有志によからし芸が披露され、当せークルク・しまして、しまして、しまりである。

曲にマッチした衣裳をまとい、会 場の熱気と体内の熱気、さらには自 己評価なども気になって汗だくでし た。その他生演奏による合唱、生演奏付きのカラオケなど、盛りだく さんの隠し芸が披露されました。

Page 7

ら体育実技の単位が取れます。)

1. 通常活動種目

レクダンス・フォークダンス: 練習日毎月第二、第四火曜日PM1 時~3時(センター内)

TBG:練習日毎月第二、第四 火曜日AM10時~12時(大岡原っぱ) 2. 校外活動種目(随時)

TBG、オリエンテーリング、 ウオークラリー他

3.連絡先

代表 中島 博子 Tel:0467-83-8203

(佐々木 恭夫記)

人間学研究会

【例会予定】(2002/01~2002/05) 01/12(土) 「サラリーマン駐在員 のアメリカ5年間奮闘記」 日和山 さん

02/17(日) ワークショップ「これ でいいのか日本パート 」

03/17(日) 総会と新役員選出、会 則変更など。「環境産業紹介」 高橋 さん

4月始め/新入生の集い(会員募 集活動)

04/13(土)卒研発表「老人介護について」 津國秀子さん

05/18・19 (土・日)研修旅行(18: 銀座・日本橋歴史探訪、千葉セミナハウスに宿泊。19:佐倉国立博物館他見学などを検討中)

連絡先:高橋暢二 044(355)3865 【歩きましょう予定】 (2002/01 ~ 2002/03)

01/13(日)「筑波山ハイキング」 JR東京駅八重洲南口発07:20AMの ニューつくばね号(バス)で出発。昼 食持参のこと。雨天の場合は翌日に 延期

02月上旬に軽いハイキングを予定。ご希望コースを募集中 03/03(日)~ 「第1回四国八十八ヶ 所めぐり」

21:30品川発の夜行バスを利用。今回は一番霊山寺~十七番井戸寺。現地で5泊6日し、03/09に帰京予定連絡先:大出鍋蔵 0468(41)7937

鈴木万里子 0466(37)0191

うえるかむKanagawa

新年おめでとうございます。今年も"うえるかむKanagawa"は元気に活動していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

"うえるかむKanagawa"の母体であ る"うえるかむ"は海外学生交流サー クルとして、各学習センター有志で平 成7年に設立し、昨年の4月にはイギリ スのOpen Universityを訪問、9月には三 鷹の国立天文台を見学、12月には千葉 のセミナーハウスで一泊研修・懇親会 を行いました。メンバーの大きな天体 望遠鏡で夜空の星を眺めロマンにひた りました。いろいろな学習センターの 仲間と楽しい活動をしています。"う えるかむKanagawa "は平成8年より独自 に活動し、ラジオの英会話入門や文法、 フリートーキング、放送大学のテキス ト等自分達で工夫して英語を勉強し、 おしゃべりも楽しんでいます。皆様も チョット覗いて見ませんか。

*例会

第2水曜 13:00~15:00 第4水曜 13:00~15:00

*各学習センター合同行事は毎月一回 程度(土、日、祝日)開催

*どちらに参加してもかまいません。

*7年余り続きました"Nancy Class"は12月24日にNancyさんがオレゴンに帰られましたので終了いたしました。この間にご参加くださいました皆様、ご協力頂きました学習センターの方々、誠に有り難うございました。今後は、"うえるかむ Kanagawa"の時間帯に時々外国人の先生を招き、生きた英会話を習う予定にしています。問い合わせ先

星 045-844-9647 野末 044-287-0270

放送大学同窓会

新年明けましておめでとうござい ます。

昨年は色々と皆様のご協力を頂き意義ある年になりました。世の中明るい話題が少なく息が詰まりそうです。皆で知恵を出し、力を出し合って暗い話など吹き飛ばし楽しい一年にしましょう。同窓会は、今年も色々と行事

を計画していますので宜しくお願い致します。

【映画鑑賞とお話】

日時:平成14年2月24日(日)

13時~16時

場所:神奈川学習センター

第8講義室

題名:「初恋のきた道」

解説:西浦久晏氏

問合せ先: TEL&FAX 0467-24-

0160(出口)

【フォスター・プラン活動展示】 フォスター・チャイルドとの交流、 現地訪問等の活動状況をパネル展 示致します。・期間: 平成14年1月22 日(火)~2月17日(日)

場所: 神奈川学習センター 談話 室・問合せ先: TEL&FAX 045-842-5300(伊東)

『波濤』23号の発行: 平成14年3月 1日 (伊東記)

神奈川放友会

10月入学の皆さん神奈川放友会です。通信指導も済ませ、1月末の認定試験の準備中と思います。神奈川放友会は神奈川学習センター所属の学生団体で、会員相互の交流の輪を拡げ親睦を図り、学習を援助するサークル活動を行っています。

- ・行楽と研修を兼ねた旅行
- ・・一泊研修旅行

(大学本部・図書館等)

- ・・旅にいこう会 (行楽地・名所旧跡等)
- ・学習に関する情報交換
- ・会員相互の研究発表
- ・パソコン勉強会

特にパソコン勉強会には放友会の半数近くが参加しています。放送大学での学生生活をより一層充実させ交流の輪を拡げたい方の入会をお待ちしています。

行事予定(1月 ~ 6月) 2月17日(日)旅にいこう会 3月17日(日)例会、翌年度の計 ⁵

4月 上旬 新会員勧誘、歓迎会 4月 中 / 下旬 総会 5月 中 / 下旬 例会 6月 中 / 下旬 旅にいこう会 パソコン勉強会は別途スケ デュールで実施しています。

照会 / 入会申込先

吉田会長が体調を崩されていますので、E-mailでの申込みを考慮し、今回に限り下記松本副会長、または芝崎事務局宛にお願いします。

〒244-0814横浜市戸塚区南舞岡3-9-6松本道男Tel:045-822-667、E-Mail:m-michio@h2.dion.ne.jp 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-13-13-506 芝崎芳和Tel/Fax:0466-25-0090、E-Mail:shibasun@gray.plala.or.jp

弘法山公園ハイキング旅行記

放友会有志の集まり「パソコンを楽しむ会」では、パソコンの勉強のほかに親睦を深めるための行事として、吉原さんと古本さんの幹事のもと「弘法山公園ハイキング」を催しました。

1. 期日;平成13年11月22日(木) 2. 場所;弘法山公園・吾妻山コース 3. 参加;男性 酒井・吉原・寺村・ 岡本・木村(敬称略)

女性 古本・斎藤(京)・堀内・ 川崎(敬称略)合計9名

*9時集合そして出発

* 登山開始

いきなりの急坂と急階段の連続に皆さん喘ぐことしきり。これは参ったと後悔の念が頭をよぎる頃、30分ほどであっさり権現山の頂上に到着。ほっと一息。桜の木の多い頂上の広場には、オープンしたばかりの展望台があり、限事た第十街、遠景に雪を頂く見事な富士山が眺められた。汗と共に

緊張も解け、早くも和気藹々。富士山を バックに記念写真をとって弘法山へ向か う。

* 弘法山山頂で昼食

弘法山へは寺社の参道のようになっていて整備された広い道が続く。沿道にはソメイヨシノが植えられ、お花見頃の賑わいを偲ばせる。秦野は、その昔煙草の産地。それに因んだ石碑があった。古本さんの瞠目すべき煙草博士ぶり、一同唖然としてその見事な講釈に聞き入る。緩やかな登りを楽



U A 神奈川学習センター ふゆだより編集部

発行者 : 神代和俊編集者: 五十嵐、遠藤、星、加藤、松本 、皆川、吉田、村山、浅野、坂井

・「あき」だよりに誤植がありましたので訂正しお詫び申し上げます。佐々木さんの「音楽フリーク」6行目でバンドホテル閉鎖を1995年5月としましたが、1999年の間違いでした。

・下記ホームページでは、掲示板で情報を募ったり、神奈川学習センターの教務情報を載せたメールマガジンを発行したりしております。

ホームページもご覧ください。 http://u-air.net/kanagawa/

次回、神奈川学習センター「はる」だよりの特集テーマは、「人との出会い」です。学生の方々の原稿を募集いたします。1200字程度にまとめて3月上旬までに、E-Mailで、あるいはセンター窓口までお寄せください。

しい会話とともに歩を進めると もう大師堂の建つ弘法山山が だ。弘法大師ゆかりの井戸が記 だ。弘法大師の面影を残ともにその面影を残ともにそのしと 関合もも良しとく はした。 黄色く鮮やかにて とにイチョウの大木のろげをと いめい持なった。 銀杏(ぎんしい)を珍しがって持ち帰る ん)を珍しがって持ち帰る ん)を珍しがって持ち帰る 、* 吾妻山から鶴巻温泉駅へ

*海老名の蔵元訪問へ

* 打ち上げを大和の居酒屋で ここから出番は吉原さん。旅の 仕上げに大和駅ビル内の居酒屋 魚貝亭"へ。豊富な海の幸をお つまみにビールも日本酒も会話 も大いに進みました。未だ出 会って日の浅いお互いでした が、放送大学、パソコンを縁とし て今日一日集まった一同、旧知 の如く打ち解けて楽しい語らい のうちにお開きとなりました。 このような親睦の機会は、もっ ともっと幅広く、多くの人々の 参加を得て益々盛んになること を望んだのは、私一人ではな かったように思いました。(文: 木村勝紀)